

第2回宇宙開発委員会（定例会議）

議 事 次 第

1 日時 昭和51年1月21日(水)
午後2時～4時

2 場所 宇宙開発委員会会議室

3 議題

- ・ ドイツ連邦共和国研究技術省第5局長の招へいについて

4 資料

- 委2-1 第1回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨
- 委2-2 ドイツ連邦共和国研究技術省第5局長の招へいについて(案)

委 2-1

第1回宇宙開発委員会（定例会議）

議 事 要 旨

- 1 日時 昭和51年1月7日（水）
午後2時～4時
- 2 場所 宇宙開発委員会会議室
- 3 議題 昭和51年度宇宙関係政府予算案について
- 4 資料 委1-1 第28回宇宙開発委員会（臨時会議）議事要旨
委1-2 昭和51年度宇宙関係政府予算案総括表

5 出席者

宇宙開発委員会委員長代理	山 県 昌 夫
“ 委員	網 島 毅
“ “	八 藤 東 禧
“ “	斎 藤 成 文
関係省庁職員等	
科学技術庁研究調整局長	伊 原 義 徳
“ “ 宇宙開発参事官	園 山 重 道
通商産業省機械情報産業局次長	井 川 博
	（代理：角田）
“ 工業技術院総務部長	杉 浦 博
	（ “ ：木村）
気象庁総務部長	宇都宮 寛
	（ “ ：高谷）

(1)

海上保安庁総務部長

兼 松 曉 昭

（代理：佐藤）

郵政省電波監理局審議官

市 川 澄 夫

（ “ ：寛）

建設省大臣官房技術参事官

宮 内 章

（ “ ：馬薙）

事務局

科学技術庁研究調整局宇宙企画課長 上 島 史 郎

“ 宇宙国際課長 塚 田 真 一

“ 宇宙開発課長 今 村 宏 他

6 議事要旨

(1) 前回議事要旨について

第28回宇宙開発委員会（臨時会議）議事要旨が一部修正のうえ確認された。

(2) 昭和51年度宇宙関係政府予算案について

事務局から資料委1-2に基づいて説明が行われたのち、以下の質疑応答が行われた。

網島：宇宙開発事業団は、規模に比して常勤理事の数が少ないのではないか。科学技術庁の開発関係の他の特殊法人について、予算額と常勤理事数との関係を調べておいてほしい。

山県：宇宙開発事業団以外における人員増はどのようになっているのか。

宇都宮（代理：高谷）：気象庁においては、GMS関係の人員が62名増加し、171名となった。

(2)

しかし、これは準備段階での人数であり、G M S の選用が開始されればさらに増加することになるだろう。

市川（代理：寛）：郵政省においては、電波研究所で11名（うち鹿島支所1名）、本省で1名増加することとなつた。

ドイツ連邦共和国研究技術省第5局長の招へい
について案

年 月 日
宇宙開発委員会
決 定

我が国とドイツ連邦共和国との宇宙開発に関する相互理解を深め、今後の協力に資するため、下記によりドイツ連邦共和国研究技術省第5局長を招へいすることとする。

記

1. 招へい者

ドイツ連邦共和国研究技術省第5局長

Dr. Wolfgang Finke

(ドイツ航空宇宙研究所 (DFVLR) 所長 Dr.

Hermann L. Jordan 及び研究技術省第5局宇宙研究
技術部基本問題課長 Dr. Herbert Römer が随行する。)

2. 招へい時期

3月初旬約1週間

(参考)

Dr. Wolfgang Finke 研究技術省第5局長略歴

1925年 ドレスデン郊外生れ

ゲッティンゲン大学、チュービンゲン大学等で経済学
及び哲学を学ぶ。

哲学博士、経済学士

● 1956年 連邦経済省

1957年 経済問題省

1973年 研究技術省第5局長

1975年 欧州宇宙機関 (E S A) 理事会議長就任